

2026 年度
東京農工大学大学院工学府産業技術専攻（専門職大学院）
学生募集要項請求方法について

（注意）この PDF ファイルを印刷して出願に用いることはできません

出願を希望する方は、必ず学生募集要項の冊子入手し、
綴じ込みの所定用紙を用いてください。

【直接取りに来られる場合】

小金井地区事務部学生支援室入学試験係（管理棟 1 F）の窓口にて配布中です。
（土日、祝日を除く 8：30～17：15）

【郵送で請求する場合】

学生募集要項の郵送を希望される方は、返信用封筒（角形 2 号・A4 サイズ）に
切手（普通便 320 円・速達便 620 円）を貼って、下記住所までご請求ください。

なお、請求の際は、宛名の横に「工学府産業技術専攻学生募集要項請求」と朱書きしてください。

発送までに時間を要する場合があります。郵送で請求する場合、出願期間までに十分な余裕をもって請求してください。

【ご請求及びお問い合わせ先】

〒184-8588

東京都小金井市中町 2-24-16 管理棟 1F

東京農工大学小金井地区事務部 学生支援室入学試験係

電話 042-388-7014（土日・祝日を除く 8:30～12:00, 13:00～17:15）

E-MAIL tnyushi@cc.tuat.ac.jp

2026年度

東京農工大学大学院工学府

産業技術専攻（専門職大学院）

学生募集要項

東京農工大学大学院

産業技術専攻（専門職大学院）の固有の目的

生命、化学、機械、情報工学の各産業分野の先鋭の科学技術に精通し、かつ技術経営知識を活用して戦略的に研究開発・製品開発プロジェクトの推進・管理・運営を行える人材及びこれら産業技術シーズを戦略的に提供し、産業技術イノベーションを推進・展開できる技術者・研究者・経営者の養成を目的とする。

産業技術専攻（専門職大学院）の アドミッションポリシー

産業界のニーズを理解し、技術経営の知識に基づいて産業技術シーズを戦略的に提供できるような、産業技術開発における即戦力となる技術者・研究者・経営者を育成する。

よって、次のような人材を求める。

1. 科学技術を実際の研究・開発を通して習得し、技術経営の知識を兼ね備え、修了後に研究・技術開発職や博士後期課程進学を志望する新卒学生・社会人。
2. 戦略的な技術開発、製品化、事業化に関するスキルと知識を習得し、企業等における経営・戦略・企画を担当する業務をめざす社会人。

重 要

本要項に記載した情報は令和7年(2025年)4月時点の内容です。

本要項の公開後であっても、選抜方法や日程等に変更が生じる可能性があります。

出願にあたっては、必ず本学ホームページにて最新の情報を確認してください。

【本学ホームページ「重要なお知らせ」URL及びQRコード】

https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_daigakuin/info/



2026年度 東京農工大学大学院工学府 産業技術専攻 学生募集要項

1. 募集人員

入学定員 40名	第1回入試	32名程度
	第2回入試	8名程度
	※第3回入試	若干名

※第3回入試は社会人特別入試のみ。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とする。

一般入試の出願資格

- (1) 大学を卒業した者及び2026年3月末までに卒業見込みの者。
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定（大学改革支援・学位授与機構）により学士の学位を授与された者及び2026年3月末までに学士の学位を授与される見込みの者。
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月末までに修了見込みの者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月末までに修了見込みの者。
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして、当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2026年3月末までに修了見込みの者。
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が三年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月末までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者。
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2026年3月末までに修了見込みの者。
- (8) 文部科学大臣の指定した者。
- (9) 本専攻が、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年4月1日現在22歳に達した者。

学部3年次学生を対象とする特別入試の出願資格

- (10) 2026年3月31日現在において、大学に3年以上在学又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本専攻が所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。ただし、2026年3月卒業見込みの者を除く。

社会人特別入試の出願資格

- (11) 上記(1)から(9)のいずれかに該当する者で、企業、官公庁、独立行政法人などに在職中で実務経験が入学時点で3年以上あり、所属長の推薦状、就学許可がある。

（注1）出願資格(9) (10)により出願する者は、事前に審査を行うので、「出願資格(9)の個別の入学資格審査について(P6)」及び「出願資格(10)の事前審査について(P7)」も必ず参照すること。

（注2）在留資格が「留学」のまま入学する留学生については、平日昼間研究室で指導を受けることを前提条件とする。

3. 出願期間

第1回入試 2025年8月25日（月）～ 8月29日（金）

※筆答試験免除を希望する者は、2025年6月2日（月）から6月5日（木）までに出願すること。

郵送にて出願する場合は2025年6月5日（木）必着とする。

第2回入試 2025年11月17日（月）～ 11月20日（木）

第3回入試 2026年2月16日（月）～ 2月19日（木）

（窓口受付時間：9：00～12：00、13：00～17：00 ※土日・祝日は除く）

郵送にて出願する場合は出願期間内必着とする。

4. 出願手続

出願しようとする者は「6. 出願書類等」を参照し、出願期間中に小金井地区事務部学生支援室入学試験係まで持参又は郵送すること。

郵送で出願する場合は書留郵便（速達）とし、封筒の表に「工学府産業技術専攻入学願書在中」と朱書きすること。

試験日より3日前までに受験票が届かない場合は、入学試験係まで必ず連絡して下さい。

出願書類提出先及び問い合わせ先

東京農工大学小金井地区事務部学生支援室
入学試験係（管理棟1階）
〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16
TEL 042-388-7014

5. 選抜方法

入学者の選抜は、小論文及び口述試験、出身大学の成績証明書、外部テストのスコア等を総合して行う。

ただし、筆答試験免除を志望する者に対しては口述試験と出身大学の成績証明書等を総合して行う。

(1) 筆答試験免除による入試（第1回入試のみ）

出願資格(1)、(2)の者で、2026年3月卒業見込の者は、筆答試験免除による入試を志望することができる。

ただし、本専攻を第一志望とする者に限る。

1) 筆答試験免除を志望する者には、成績証明書に基づき筆答試験免除の資格判定を行う。

有資格者は2)の口述試験を受験すること。

有資格者とならなかった者は、(2)筆答試験による入試 1)一般入試及び 2)社会人特別入試を受験できる。

資格判定の結果は、2025年6月16日（月）に発送する。

2) 口述試験 2025年7月1日（火） 場所 本学小金井キャンパス

※集合場所・時間・内容については、別途通知する。

3) 口述試験の結果は2025年7月10日（木）に発送する。

この結果、合格内定とならなかった者は、(2)筆答試験による入試 1)一般入試及び 2)社会人特別入試を受験できる。

4) 合格者は、2025年9月12日（金）に筆答試験による入試の合格者と併せて発表する。

(2) 筆答試験による入試（第1回入試・第2回入試・第3回入試）

1) 一般入試

○小論文：技術経営に関わる小論文1000字程度

○口述試験：技術専門分野における口述試験（プレゼンテーションを含む）

2) 社会人特別入試

○口述試験：技術専門分野における口述試験（プレゼンテーションを含む）

6. 出願書類等

出 願 書 類		注 意 事 項
A	入 学 志 願 票 (所定用紙)	
B	写 真 票 ・ 受 験 票 (所定用紙)	写真票には、出願以前3ヵ月以内に撮影した脱帽上半身の写真（縦4cm×横3cm）を貼付すること。
C	卒業（見込）証明書	出身大学が作成した卒業（見込）証明書を提出すること。ただし、本学卒業見込みの者、及び出願資格（9）、（10）に該当する者は提出不要。外国語の場合は和訳を添付すること（本人の翻訳可）。 （修士課程修了者は、修了証明書も提出のこと。）
D	成 績 証 明 書	出身大学が作成したもの。ただし本学卒業見込みの者は提出不要。外国語の場合は和訳を添付すること（本人の翻訳可）。 （修士課程修了者は、修士課程成績証明書も提出のこと。）
E	志 望 理 由 ・ 業 績 ・ 研 究 計 画 書 (所定様式)	<u>所定様式を本専攻のホームページからダウンロードして2～3ページで作成し、印刷して提出すること。</u> ダウンロード先： 東京農工大学大学院工学府産業技術専攻 ホームページ 「入試情報」－「入試日程」出願書類（WORD版） （本学生募集要項に綴じ込まれている様式見本にQRコードを掲載している）
F	入 学 検 定 料 (本学所定の入学 検定料払込用紙に より払込み)	30,000円 本学所定の入学検定料払込用紙により郵便局・ゆうちょ銀行で払込のうえ、受付局日附印を押した「振替払込受付証明書」を受け取り、「入学検定料納付確認票」の所定位置に貼り付けること。なお、「振替払込請求書兼受領証」をもって本学の受領証書とするので、大切に保管のこと。 ※「振替払込受付証明書」の受付局日附印の押印で入学検定料納付を確認するので、入学検定料の納付は郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口での払込に限る。（ATMは使用不可） ただし、国費外国人留学生は入学後の奨学金支給延長の決定後、入学試験係まで連絡すること。
G	外部の英語資格試験 のスコアシート (社会人特別入試出 願者は提出不要)	①以下のうちいずれか1つのスコアシートの原本及びコピーを出願時に提出。 ・ TOEIC L&R 公開テストのOfficial Score Certificate（公式認定証） ・ TOEIC-IPテスト（本学実施に限る）のInstitutional Program (IP) Score Report（個人成績表） ・ TOEFL-iBT（Home Edition含む）のTest Taker Score Report（受験者用控えスコア） ・ TOEFL-ITP（本学実施に限る）のTest Taker Score Report（受験者用控えスコア） ②2023年4月1日以降に受験しているものを有効とする。 ③スコアシートは合格判定の一部として利用する。 ④持参による出願の場合、スコアシート原本は確認のうえその場で返却する。 郵送による出願の場合、スコアシート原本は受験票と共に返送する。 ⑤一度提出したスコアシートの差し替えは認めない。 ⑥TOEIC・TOEFLのスコア換算については、P5のTOEIC・TOEFLスコア換算表を参照。 注1) TOEFL-iBTのスコアについては、Test Dateスコアを評価の対象とする（MyBestスコアは評価の対象としない）。 ⑦出願書類として提出するスコアシートは、すべて原本とする。ETSのサイトからダウンロードしたPDF版を用いて出願することはできない。
H	宛 名 票 (所定用紙)	必要事項を記入すること。提出後、住所等の変更があった場合には速やかに小金井地区事務部学生支援室入学試験係まで連絡すること。
I	住 民 票 (外国人志願者のみ提出)	外国人志願者は、住民票の写し（国籍等、在留資格、在留期間及び在留期間の満了の日が記載されたもの。）を提出すること。
J	返 信 用 封 筒 (郵送志願者のみ)	長型3号の封筒に460円切手を貼付し、受験票等の送付先住所・氏名及び郵便番号を記載すること。ただし、出願書類持参の場合は提出不要。
K	推 薦 状 (所定用紙)	出願資格（11）で出願する者は提出すること。
	学位授与(申請予定) 証 明 書	出願資格（2）で出願する者は提出すること。

7. 筆答試験の日時及び場所

- (1) 日 時：第1回入試：2025年9月6日（土）
第2回入試：2025年12月7日（日）
第3回入試：2026年2月28日（土）
- (2) 場 所：東京農工大学小金井キャンパス
なお、試験会場等の詳細については、別途志願者に通知する。

8. 合格発表

第1回入試 2025年9月12日（金）
第2回入試 2025年12月12日（金）
第3回入試 2026年3月9日（月）
午後1時30分から3日間、本学ホームページ上で掲示する。合格者には合格通知書を同日郵送する。

9. 入学手続

- (1) 入学手続
日 時 2026年3月の本学が指定する日
入学手続きの詳細については、別途合格者に案内する。
- (2) 納入金
 - 1) 入学料……282,000円（この金額は改定する場合がある。）
 - 2) 授業料……642,960円（前期分 321,480円・後期分 321,480円）注意）授業料の納入については、入学後の納入とする。
入学料および授業料は改定される場合がある。
在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される場合がある。
なお、他の大学院に在学中の者は退学証明書を提出しなければならない。提出できない場合は入学許可を取り消すことがある。
- (3) その他必要書類……就学許可証（本学所定用紙）
在職のまま入学を希望する者は所属長等による就学許可証を提出すること。

10. 注意事項

- (1) 受験の際には、必ず受験票を携帯しておくこと。
- (2) 出願手続後における提出書類の内容変更は認めない。
- (3) 本要項及び大学からの指示する諸事項を守らない場合は、受験できない場合がある。
- (4) 入学試験に関わる照会はP2に記載の出願書類提出先及び問い合わせ先とする。
- (5) これ以外の試験に関わる注意事項がある場合は出願時に配布する。
- (6) 本試験に関する変更等が生じた場合は、直ちに志願者に通知する。
- (7) 納入した検定料は、いかなる理由があっても払い戻さない。
- (8) 出願資格（10）による合格者は、2026年3月末までに、在籍大学（学部）の確定した成績証明書を小金井地区事務部学生支援室入学試験係に提出すること。
- (9) 入学後、本人の申込みに伴い、入学料・授業料免除および奨学金団体の制度によっては、出願時の成績証明書および入学試験の成績を使用することがある。出願時に取得した個人情報に関しては、国立大学法人東京農工大学個人情報の保護に関する規程に則り、適切に使用する。
- (10) 試験当日の交通機関の遅れについては、原則としてJR中央線のみを考慮する。
- (11) 試験前日または当日に災害等が発生し、試験の実施に大きな問題が生じた場合は、以下のウェブサイトに対応を周知する。
【本学ホームページ「トップページ>ニュース」】
<https://www.tuat.ac.jp/NEWS/>
- (12) 障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）等のある者で、受験上および修学上の配慮を必要とする者は、指導予定教員および入学試験係に出願前のできるだけ早い時期に相談すること。
申請内容によっては、試験日までに対応できず、配慮できないこともあるので、なるべく早く申し出ること。
- (13) 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人東京農工大学安全保障輸出管理規程」を定め、学生の受入れに際し厳格な審査を行っている。規制事項に該当する場合には、本学から経済産業省への許可申請が必要となり、すぐに教育が受けられない場合や研究ができない場合がある。また、本学からの許可申請について、経済産業省が国際平和・安全の維持の観点から不許可とした場合、結果的に本学での教育が受けられない場合や研究ができない場合がある。

主な日程 ※第3回入試は社会人特別入試のみ。

事 項	第1回入試	第2回入試	第3回入試
入学願書受付(筆答試験志望者)	2025年8月25日(月) ～8月29日(金)	2025年11月17日(月) ～11月20日(木)	2026年2月16日(月) ～2月19日(木)
入 学 試 験	2025年9月6日(土)	2025年12月7日(日)	2026年2月28日(土)
合 格 者 発 表	2025年9月12日(金)	2025年12月12日(金)	2026年3月9日(月)
入 学 手 続 き	2026年3月中旬		2026年3月25日(水)

事 項	第1回入試
筆答試験免除志望者願書受付	2025年6月2日(月)～6月5日(木)
筆答試験免除資格判定結果通知	2025年6月16日(月)
筆答試験免除志望者口述試験	2025年7月1日(火)
筆答試験免除志望者合格内定通知	2025年7月10日(木)

事 項	第1回入試	第2回入試	第3回入試
個別入学資格審査申請受付	2025年5月7日(水) ～5月9日(金)	2025年10月14日(火) ～10月17日(金)	2026年1月21日(水) ～1月23日(金)
個別入学資格審査口述試験	2025年5月15日(木)	2025年10月22日(水)	2026年1月27日(火)
個別入学資格審査結果通知	2025年6月6日(金)	2025年11月7日(金)	2026年2月9日(月)

TOEFL・TOEICスコア換算表

TOEFL ITP	TOEFL iBT	TOEIC 公式・IP
673-677	120	990
670	119	990
667	118	990
660-663	117	990
657	116	990
650-653	114-115	990
647	113	990
640-643	111-112	990
637	110	980
630-633	109	965
623-627	106-108	950
617-620	105	925
613	103-104	910
607-610	101-102	900
600-603	100	880
597	98-99	865
590-593	96-97	850
587	94-95	836
580-583	92-93	820
577	90-91	805

TOEFL ITP	TOEFL iBT	TOEIC 公式・IP
570-573	88-89	800
567	86-87	780
563	84-85	770
557-560	83	750
553	81-82	740
550	79-80	730
547	77-78	720
540-543	76	700
537	74-75	690
533	72-73	680
527-530	71	665
523	69-70	650
520	68	645
517	66-67	635
513	65	625
507-510	64	610
503	62-63	600
500	61	590
497	59-60	580
493	58	565

TOEFL ITP	TOEFL iBT	TOEIC 公式・IP
487-490	57	550
483	56	540
480	54-55	530
477	53	520
470-473	52	500
467	51	490
463	49-50	480
460	48	470
457	47	460
450-453	45-46	445
447	44	435
443	43	420
437-440	41-42	410
433	40	400
430	39	385
423-427	38	370
420	36-37	350
417	35	345
410-413	34	330
407	33	315

TOEFL ITP	TOEFL iBT	TOEIC 公式・IP
400-403	32	300
397	30-31	290
390-393	29	270
387	28	260
380-383	26-27	250
377	25	230
370-373	24	215
363-367	23	200
357-360	22	180
353	21	160
347-350	19-20	150
340-343	18	130
333-337	17	110
330	16	100
323-327	15	80
317-320	14	60
313	13	50
310	0-12	35

出願資格（９）の個別の入学資格審査について

この出願資格の認定については、次のとおり個別の入学資格審査を行うので、個別入学資格審査申請書類受付期間中に次の書類をそろえ、小金井地区事務部学生支援室入学試験係に提出すること。

１）必要書類等

① 個別入学資格審査申請書	所定用紙
② 最終卒業学校の卒業証明書	出身学校が作成したもの
③ 最終卒業学校の成績証明書	出身学校が作成したもの
④ 履 歴 調 書	所定用紙
⑤ 志 望 理 由 書	様式随意。 A4版1,000字程度で作成のこと。
⑥ そ の 他	卒業研究・課題研究の要旨又はそれと同程度の研究報告書がある場合は、その要旨。 大学を中退した場合は成績証明書を提出すること。

２）個別の入学資格審査申請書類受付期間

第１回入試 2025年５月７日（水）～５月９日（金）

第２回入試 2025年10月14日（火）～10月17日（金）

第３回入試 2026年１月21日（水）～１月23日（金）

（窓口受付時間：9：00～12：00、13：00～17：00 ※土日・祝日は除く）

受付場所：東京農工大学小金井地区事務部学生支援室入学試験係（管理棟１階）

郵送での提出も可。上記受付期間内に必着するように郵送すること。

ただし、郵送の場合は速達簡易書留とし、封筒に「個別入学資格審査申請書在中」と朱書すること。

３）口述試験日

第１回入試 2025年５月15日（木）

第２回入試 2025年10月22日（水）

第３回入試 2026年１月27日（火）

試験会場等の詳細については、別途申請者に通知する。

４）個別の入学資格審査の結果通知

第１回入試 2025年６月６日（金）

第２回入試 2025年11月７日（金）

第３回入試 2026年２月９日（月）

結果は郵送にて通知する。

出願資格(10)の事前審査について

この出願資格の認定については、次のとおり事前審査を行うので、事前審査申請書類受付期間中に次の書類をそろえ、小金井地区事務部学生支援室入学試験係に提出すること。

1) 必要書類等

① 事前審査申請書	所定用紙
② 在籍大学の成績証明書	在籍大学が作成したもの。(本学に在籍している者は提出不要)
③ 志望理由書	現在行っている(行いたい)研究の概略を明記したもの。様式随意。
④ その他	卒業研究・課題研究又はそれと同程度の研究報告書がある場合は、その要旨。

2) 事前審査申請書類受付期間

第1回入試 2025年5月7日(水)～5月9日(金)

第2回入試 2025年10月14日(火)～10月17日(金)

第3回入試 2026年1月21日(水)～1月23日(金)

(窓口受付時間：9：00～12：00、13：00～17：00 ※土日・祝日は除く)

受付場所：東京農工大学小金井地区事務部学生支援室入学試験係(管理棟1階)

郵送での提出も可。上記受付期間内に必着するように郵送すること。

ただし、郵送の場合は速達簡易書留とし、封筒に「事前審査申請書在中」と朱書すること。

3) 事前審査の結果通知

第1回入試 2025年6月6日(金)

第2回入試 2025年11月7日(金)

第3回入試 2026年2月9日(月)

結果は郵送にて通知する。

4) 本出願資格により、本専攻に入学した者の学部学生としての学籍上の身分は、退学となる。

したがって、各種国家試験等の受験資格で、大学の学部卒業が要件となっているものについては、受験資格がないことになるので、十分留意すること。ただし、大学改革支援・学位授与機構に申請し、審査および試験に合格した者は学士の資格を取得することができる。

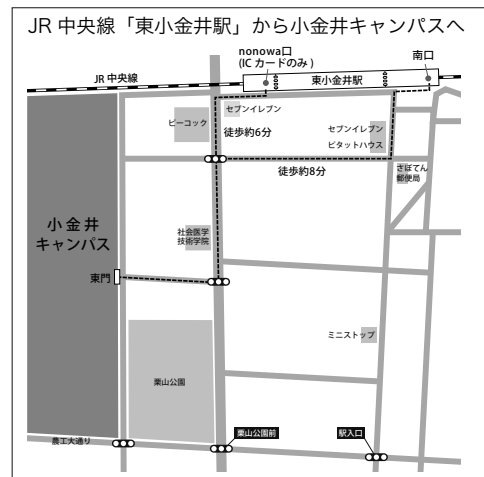
所在地

工学府 〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16 TEL 042-388-7014

東京農工大学大学院工学府案内図



1 1号館 (応用化学科・化学物理工学科)	10 10号館 (生命工学科・知能情報システム工学科)	18 BASE本館 (大学院生物システム応用科学府 (BASE))	29 学生寄宿舎 (桜寮)
2 2号館 (機械システム工学科)	11 11号館 (生命工学科)	19 工学部総合会館	30 学生寄宿舎 (桜寮)
3 3号館 (知能情報システム工学科)	12 12号館 (生命工学科・応用化学科・機械システム工学科・知能情報システム工学科)	20 CAD/CAM実習施設	31 小金井第2宿舎 (職員宿舎)
4 4号館 (生体医用システム工学科・応用化学科・化学物理工学科)	13 13号館 (グローバル教育院小金井オフィス)	21 先端産学連携研究推進センター (VBL棟・共同研究施設・インキュベーション施設)	32 140周年記念会館 (エリプス)
5 5号館 (生体医用システム工学科・知能情報システム工学科・機器分析施設・産業技術専攻)	14 14号館 (機械システム工学科・生命工学科・産業技術専攻)	22 科学博物館	33 次世代キャンパス研究センター (工学部事務部)
6 6号館 (機械システム工学科)	15 工学部講義棟	23 先端科学実験棟	34 管理棟 (愛称: CUBE) (工学部事務部)
7 7号館 (知能情報システム工学科)	16 新1号館 (生体医用システム工学科・応用化学科・知能情報システム工学科)	24 環境管理施設	35 小金井動物救急医療センター
8 8号館 (総合情報メディアセンター)	17 小金井図書館	25 ものづくり創造工学センター	
9 9号館 (機械システム工学科)		26 体育館・武道場	
		27 工学部R実験研究棟	
		28 小金井国際交流会館	



◎交通機関

小金井キャンパス JR中央線 東小金井駅 (新宿から約22分・立川から約12分)
nonowa口から徒歩約6分・南口から徒歩約8分

東京農工大学大学院工学府

所属教員の主な研究内容

	教 員 名	専門分野・概要	プロジェクト 研究の分野	プロジェクト研究テーマ
専 任 教 員	長 澤 和 夫	生理活性を有する天然物を化学合成し、これをリードとする創薬開発を行う。また効率的な合成技術開発（分子触媒開発、フロー合成技術開発）を行う。	生命産業技術	1) 薬剤リード創製開発プロジェクト 2) 分子触媒開発プロジェクト 3) 新規有機合成技術開発プロジェクト 4) 低分子プローブ開発プロジェクト
	津 川 若 子	バイオビジネス分野 新規酵素、分子レベルで改良した酵素やたんぱく質を利用した新しいバイオセンサーを開発し、体外診断・環境計測用ツールを開発する。	生命産業技術	1) 計測用新規酵素開拓プロジェクト 2) 酵素電極POCT機器開発プロジェクト 3) 食品安全用センサー開発プロジェクト 4) 新規マルチ酵素測定法開発プロジェクト
	斎 藤 拓	材料ビジネス分野 ポリマーブレンド法などによる有機・高分子材料の高次構造制御と高性能化。超臨界流体を利用した複合材料や微多孔膜の創製と新規合成方法の開発。新規光学材料の評価や設計・開発。ナノ材料の作製と応用。	環境・材料産業技術	1) 機能材料開発プロジェクト 2) 有機・高分子材料開発プロジェクト 3) 複合材料開発プロジェクト 4) ナノ材料開発プロジェクト 5) 材料評価技術開発プロジェクト
	寺 田 昭 彦	環境ビジネス分野 地球環境に棲息する有用微生物の探索・理解・制御による、省エネ型水処理、排水中に含まれる資源回収、温室効果ガス排出削減に向けた技術開発を行う。バイオフィーム形成制御を目指した材料開発を行う。	環境・材料産業技術	1) 温室効果ガス削減微生物探索プロジェクト 2) 省エネ型排水処理技術開発プロジェクト 3) 排水中に含まれる資源回収技術開発プロジェクト 4) 水処理バイオリクター診断技術開発プロジェクト 5) バイオフィーム制御材料開発プロジェクト
	鎌 田 崇 義	機械力学・制御分野 構造物・移動体における機構や振動問題のモデル化およびシミュレーション解析を行って現象を明らかにするとともに、これらを制御、抑制するための制御技術の開発を行う。	先端機械産業技術	1) キャスター付医療機器のモデル化および振動抑制プロジェクト 2) 鉄道車両の振動解析と振動抑制プロジェクト 3) エレベータにおける振動現象のモデル化と制御プロジェクト 4) スマート構造を用いた振動抑制プロジェクト 5) 車両における騒音問題のモデル化プロジェクト
	中 本 圭 一	生産工学・加工学分野 機械加工に関する熟練技能の獲得とそのデジタル化を基にした、先進的な工作機械に向けた工程設計および工具経路生成のための次世代CAMソフトウェアの技術開発とビジネス展開を考察する。	先端機械産業技術	1) 熟練技能を基にした工程設計支援システム開発プロジェクト 2) 先進的な工作機械に向けたCAMソフトウェア開発プロジェクト 3) 複雑形状部品加工のための段取り支援技術開発プロジェクト 4) 加工工程の作業設計のための人工知能技術開発プロジェクト 5) 付加造形などを含めた加工方法最適化技術開発プロジェクト
	並 木 美 太 郎	先端的な計算機アーキテクチャ、OS、ネットワーク、言語処理系、計算機ネットワーク、データベースを基盤とする、先端的な情報システム・計算機システムを構築する技術開発とビジネス展開を考察する。	情報処理産業技術	1) Webアプリケーションをはじめとする各種情報システム構築プロジェクト 2) 組込みシステム向けOS・ミドルウェア開発プロジェクト 3) サーバ向けOS・ミドルウェア開発プロジェクト 4) セキュアな計算機システム・情報システム開発プロジェクト 5) モバイル・ユビキタスコンピューティング環境構築プロジェクト

	教 員 名	専門分野・概要	プロジェクト 研究の分野	プロジェクト研究テーマ
	山 田 浩 史	先端基盤ソフトウェア学分野 OSや仮想マシン技術、ミドルウェアをはじめとする情報システムの基盤となるシステムソフトウェアの先端的な技術開発とそれのビジネスへの展開について考察する。	情報処理技術産業	1) クラウド環境を利用した大規模情報システムの提案・開発 2) デイペンダブルなサービスを実現するための基盤ソフトウェアの提案・開発 3) スマートフォン向けシステムソフトウェアの提案・開発 4) 複数データセンタを柔軟に管理するシステムソフトウェアの提案・開発 5) 先端システムソフトウェア技術を利用したビジネス戦略の提案
専任 (実務家教員)	林 田 英 樹	経営戦略・事業戦略・マーケティング戦略分野（グローバル経営・事業マネジメント、ベンチャー経営、新製品・新事業開発戦略、R&Dマネジメントについて、技術開発とビジネス開発の展開について考察する）	技術経営	1) イノベーションマネジメント：国内外の企業研究開発プロジェクト／新事業開発マネジメントの定量的評価 数値モデル、シミュレーション、Data解析による複雑系ネットワーク分析を用いた研究プロジェクト 2) 新事業開発プロジェクトマネジメント 自動車、電力等のインフラ、半導体、ヘルスケア・メディカル（医療機器）、IT、農業、環境、食品・食品加工等の多様な分野における新事業開発戦略立案と実証研究プロジェクト 3) 中小企業・ベンチャー企業マネジメント（VC、PE、組織変革）の実証研究プロジェクト 4) 有機金属を活用した半導体材料開発プロジェクト
	高 橋 浩 一	組織行動、人材マネジメント、知識創造理論分野 組織イノベーション、人材開発、新規事業開発マネジメントを対象とする。	技術経営	1) 知識創造理論を活用した新規事業開発マネジメントの開発・提案 2) 組織感情マネジメントー集团的意味形成を重視するプロジェクトマネジメントの開発・提案 3) 「両利きの経営」における「探索型」人材開発のためのPBLアクティベーションモデルの開発・提案 4) 個人の主観を起点とする「プロダクトアウト2.0型」新規事業開発プロセスの開発・提案 5) 製品・サービスに情緒的価値を反映させるプロダクトマネジメント方法論開発プロジェクト
	山 本 晋 也	知的財産マネジメント・知財人材育成分野 イノベーションの実現を目指した知的財産・産学連携等のマネジメント及び関連する人材育成、特許制度を対象とする。	技術経営	1) 知財戦略・知的財産マネジメント 2) 知的財産・産学連携に係る人材育成 3) 事業戦略・経営戦略立案における知財情報の活用
	片 岡 大 和	マーケティング分野およびブランドマネジメント分野 消費者のインサイト分析からのアイデアを創ることやマーケティング戦略を構築すること。	技術経営	1) テクノロジーベースのマーケティングイノベーション 2) アカデミックとビジネスの融合 3) 新規事業を成功させるための要点分析
	市 川 朋 治	企業財務戦略分野、ファイナンス/アカウンティング分野、バリュエーション分野、経営戦略（知的資産経営、CSV経営）分野 無形資産（研究開発やブランド構築）の定量的評価、無形資産と企業競争力・企業価値との関連性、知的資産経営、知的資産ファイナンス、共通価値の創造（CSV）を対象とする。	技術経営	1) 無形資産（知的財産権、ブランド、組織資本など）と企業経営戦略・企業財務活動に関する実証研究 2) 知的資産ファイナンス、アセットベースレンディングなどのファイナンス手法開発 3) 資源ベース理論や知識経営理論と企業パフォーマンスに関する実証研究 4) ダイナミック・ケイパビリティや両利きの経営と企業パフォーマンスに関する実証研究 5) CSV（Creating Shared Value）戦略と企業の持続的競争優位に関する実証研究 6) 実践知と学術知の往還を可能にする高等教育手法の開発

2026年度
東京農工大学大学院工学府産業技術専攻

入学志願票

☐一般入試 ☐社会人特別入試 ☐筆答試験免除希望
該当する箇所の□に✓を記入して下さい。

受 験 番 号	
※ I-	番

ふりがな				男 ・ 女	本 籍 (又は国籍)	
氏 名						
生年月日		年 月 日生				
最終学歴		大学(大学院) 学部(研究科) 科(専攻) 年 月 卒業(修了)・卒業(修了)見込				
現 住 所		(〒 -)				
		電話() - 携帯() -				
		電話() - (平日昼の連絡先)				
		e-mail				
上記以外の 連絡場所		(〒 -)				
		電話() -				
履 歴 書		年 月	事 項			
	学 歴					
	職 歴					
	外部英語資格 試験の受験歴 (社会人特別入試) (志 願 者 の み)					
国費奨学金支給期間延長申請予定		有 ・ 無 ※ 外国人留学生のみ記入				

※印欄は記入しないこと。
*年は全て西暦で記入して下さい。

2026年度
東京農工大学大学院工学府
産業技術専攻

写 真 票

写真貼付欄	
1. 写真は、脱帽上半身 (4 cm×3 cm)出願 以前3ヶ月以内に撮 影したもの 2. 全面にのり付けする こと	
受験番号	※ I- 番
ふりがな	
氏 名	

切りはなさないこと

出 席 確 認	
筆 答 試 験	
口 述 試 験	

2026年度
東京農工大学大学院工学府
産業技術専攻

受 験 票

受験番号	※ I- 番
ふりがな	
氏 名	
(注意) 1. 本票は受験の際必ず携帯し、小論文受験の際は本票を机上に置くこと。 2. 本票は合格発表の際に必要なので、受験後も大切に保管しておくこと。 3. ※印欄は記入しないこと。	

切りはなさないこと

志望理由・業績・研究計画書

ふりがな
氏 名

受験番号 I-

(#欄は記入しないで下さい)

出身大学・学部・学科名等

_____大学 _____学部 _____学科 (卒業・卒業見込)

_____大学大学院 _____研究科・専攻 (修了・修了見込)

口述試験における技術専門分野 (いずれかに○をつける)

・生命 ・化学 ・機械 ・情報工学 ・技術経営

志望する履修プログラム (いずれかに○をつける)

・技術マネジメント (社会人) ・応用開発研究 (新卒) ・ビジネスライアル (社会人/新卒)

志望する主指導教員名 (本専攻の教員)

(第1志望)

(第2志望)

志願者が科学技術に関する指導を受ける本学の研究室の教員名 (社会人は不要です)

(_____学府 _____専攻)

* 出願前に志望する教員と必ずコンタクトを取って了承を得てください。

志望理由、業務業績・研究業績および研究計画

(図表を用いてもよい)

所定用紙を本専攻のホームページHPからダウンロードして2～3ページで作成して下さい。

ダウンロード先

東京農工大学大学院工学府産業技術専攻 ホームページ

「入試情報」—「入試日程」出願書類 (WORD版)

(右のQRコードから「入試情報」のページに接続できます)



【出願資格（９）の者のみ提出】

※
受付番号

年 月 日

個別入学資格審査申請書

東京農工大学大学院工学府長 殿

ふりがな
志願者氏名

印

今般、貴大学大学院工学府産業技術専攻に入学を志願するにあたり、個別の入学資格審査（書類審査及び口述試験）を受けたく、所定の書類を添えて申請します。

志望する技術専門分野（いずれかに○をつける）

・ 生命 ・ 化学 ・ 機械 ・ 情報工学 ・ 技術経営

（注）※印欄は記入しないこと

【出願資格（９）の者のみ提出】

履 歴 調 書

ふ り が な 氏 名				写真貼付欄 写真は上半身脱帽正 面向きで３ヶ月以内 に撮影したもの (4 cm × 3 cm)
性 別	男・女	本籍又は国籍		
生 年 月 日	年 月 日			
現 住 所	(〒 -)			
	自宅電話 () - 携帯電話 () - e-mail			
最 終 学 歴	年 月 大学 卒業・退学 学校			

卒業後の学習歴・職 歴・研究歴・社会にお ける活動状況等の名称	期 間	内 容
	年 月 ～ 年 月	
	年 月 ～ 年 月	
	年 月 ～ 年 月	
	年 月 ～ 年 月	

【出願資格（10）の者のみ提出】

※ 受付番号	
-----------	--

年 月 日

事前審査申請書

東京農工大学大学院工学府長 殿

現住所 〒 -

自宅電話

携帯電話

e-mail

ふりがな
氏 名

印

西暦 年 月 日生

写真貼付欄

写真は上半身脱帽正
面向きで3ヶ月以内
に撮影したもの

(4 cm × 3 cm)

今般、貴大学大学院工学府産業技術専攻に入学を志願するにあたり、
事前審査（書類審査）を受けたく、所定の書類を添えて申請します。

志望する技術専門分野（いずれかに○をつける）

・ 生命 ・ 化学 ・ 機械 ・ 情報工学 ・ 技術経営

（注）※印欄は記入しないこと

【出願資格（11）の者のみ提出】
(社会人特別入試で出願する者のみ)

年 月 日

東京農工大学大学院工学府長 殿

推 薦 状

※受験番号 Ⅰ- 番
氏 名

上記の者は、学力・適性等について貴大学大学院工学府に適していると認め、推薦いたします。

推薦者（所属・職名）

氏 名 印

(注) ※印欄は記入しないこと

【出願資格（11）の者のみ提出】
（社会人特別入試で出願する者のみ）

就 学 許 可 証

氏 名 _____

このたび、上記の者が貴大学大学院工学府産業技術専攻に、在職のまま就学することを許可する。

年 月 日

東京農工大学大学院工学府長 殿

住 所 _____

勤務先 _____

役職名 _____

氏 名 _____ 印

（注）※印欄は記入しないこと

入学検定料納付確認票

志 望 専 攻	産 業 技 術 専 攻
※受験番号	I-

※印欄は記入しないこと

「振替払込受付証明書」
〔大学提出用〕を貼り付けてください。

(注意)

1. 郵便局・ゆうちょ銀行印の受付日附印がない者は無効。
2. 振替払込受付証明書の所定欄に志願者住所・氏名を必ず記入のこと。
3. 振替払込請求書兼受領証は大切に保管し、ここに添付しないこと。
4. 納入された入学検定料はいかなる理由があっても払い戻さない。

入学検定料払込用紙

- ・本払込用紙に、志願者(ご依頼人)の住所・氏名(フリガナ)を記入のうえ、支払期限までに郵便局・ゆうちょ銀行窓口でお支払いください。
- ・右端の「振替払込受付証明書」を、入学検定料納付確認票に貼り付けて提出してください。(受付局日附印のないものは無効)
- ・「振替払込請求書兼受領証」は受領証書となります。改めて本学から受領証書は発行いたしませんので、大切に保管してください。

切 り 取 っ て ご 使 用 く だ さ い

00		払 込 取 扱 票									
		口座記号番号									
001208		463426									
金額		千 百 十 万 千 百 十 円									
00		30000									
加入者名		国立大学法人 東京農工大学									
※		2026年度 入 学 検 定 料									
東京農工大学大学院 工学府産業技術専攻		料 金									
支払期限：出願期間末日		備考									
必ず窓口で払い込み、ATM(現金自動預払機)は利用しないでください。											
志願者住所(郵便番号)		日 附 印									
※											
志願者氏名(フリガナ)											
(電話番号 - -)											

振替払込請求書兼受領証									
口座記号番号									
001208									
加入者名									
国立大学法人 東京農工大学									
金額									
千 百 十 万 千 百 十 円									
00									
30000									
志願者氏名(フリガナ)									
※									
ご依頼人									
様									
料 金									
(消費税込み) 日 附 印									
円									
備考									

振替払込受付証明書(お客さま用)									
(ご依頼人⇨郵便局・ゆうちょ銀行⇨ご依頼人)									
〔大学提出用〕									
口座記号番号									
00120-8-463426									
加入者名									
国立大学法人 東京農工大学									
金 額									
千 百 十 万 千 百 十 円									
00									
30000									
ご依頼人住所氏名									
※(志願者住所氏名)									
2026年度									
入 学 検 定 料									
工学府産業技術専攻									
受付局日附印のないものは無効									
(承認番号東証第1247号)									

この受領証は、大切に保管してください。

① 入学検定料は、必ずこの払込用紙を使用して郵便局・ゆうちょ銀行で払い込んでください。

② 払込の際に日附印を押印した「振替払込受付証明書」を受け取り、入学検定料納付確認票の指定欄に貼り付けて提出してください。

(注意)

志願者住所、氏名欄に記入漏れがないか、郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が漏れていないか、確認の上提出してください。

(記入漏れ、日附印のないものは無効となります。)

(ご注意)

・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。

・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。

・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。

・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収 入 印 紙
3 万円以上
貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

宛 名 票

- 郵便番号、住所及び氏名を3枚記入すること。
- 住所及び氏名は正確に記入すること。また、出願後、住所を変更した場合は、すみやかに届け出ること。
- ※印欄は記入しないこと。

宛 名 票	産 業 技 術 専攻
-------	------------

			-			
--	--	--	---	--	--	--

住所

様

受験番号	※ I-	○ 番
------	------	-----

			-			
--	--	--	---	--	--	--

住所

様

			-			
--	--	--	---	--	--	--

住所

様

受験番号	※ I-	番
------	------	---

			-			
--	--	--	---	--	--	--

住所

様